

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900518		
法人名	有限会社 万葉		
事業所名	グループホーム 山吹の里	ユニット名	ちどり
所在地	〒315-0141 茨城県石岡市月岡1582-22		
自己評価作成日	平成21年11月27日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年1月29日	評価確定日	平成22年5月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>豊かな自然環境を最大限に生かし、施設敷地内の畑では季節の野菜を栽培しておりご利用者の方と共に収穫し、そのまま食卓にお出ししている。 また、日中は玄関に鍵を掛けず出入りが自由に出来るようになっている。 『自分らしく』『その人らしく』暮らせるよう支援している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者や職員は利用者が穏やかな人間関係と豊かな自然環境の中で、安心して生活が楽しめるよう支援している。 職員は利用者が張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や持っている能力を活かした役割や楽しみを見出し支援している。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎週の全体朝礼で理念の提唱をしている。「自分らしく」「その人らしく」生活をして頂けるよう、入居者の方々が何を望んでいるのかを見つめ理解し共有している。	「さらに寄り添うケアを。自分らしさの芽を摘まないケアを。穏やかさの基本は恵まれた自然環境活用の中にある」との理念を掲げ、管理者と全職員は共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	納涼祭には地域住民・消防団の方々にも参加して頂き、盆踊りやバーベキューを楽しむ事が出来た。また、住民の方の畑で収穫した野菜や花などを持ち訪問してくれている。市によるシルバー体操(月2回)の指導(現在はインフルエンザの為中止している)	利用者は散歩や買い物時に地域の人々と挨拶や会話を交わし日常的に交流している。 事業所は市の奉仕活動に参加しているほか、中学生の体験学習を受け入れたり、事業所の行事に地域の人々を招待するなど地域と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	高齢者の方がいる地域住民の方の悩み・困り事などボランティアで訪問された時などに相談にのり社会資源等を紹介している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ほぼ2ヶ月に1度開催しており、報告や意見交換など行っている。今回のインフルエンザ対策について対応法を伺う事が出来た。	運営推進会議では市職員や民生委員、事業所の代表者、職員で2ヶ月に1回開催し事業所の運営状況や課題等について説明するとともに、会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者には運営推進会議・行事・研修等に参加してもらい取り組みを伝えている。また、入居後のフォローの為来所され情報交換を実施している。	市担当者と電話や訪問で連絡を取り合い事業所の空き情報を知らせたり、ケアサービスの取組みを相談するなど連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修を行い職員に説明し、理解を深めている。身体拘束廃止のポスターを壁に貼り、いつも意識できるようにしている。居室には鍵がなく、日中は玄関を施錠せず出入りが自由になっている。	管理者や全職員は身体拘束の弊害を理解しており、玄関の施錠を含め一切身体拘束はしていない。 利用者の外出を察知した場合は職員が同行するなど、利用者の意思を尊重する支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は高齢者虐待防止法の研修を受講している。また、内部研修にて職員に伝え「不適切ケア」に対する理解を深めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は成年後見制度についての講習を受けている。制度利用が必要なご利用者の方の場合、市町村、関係機関と連携した対応をする準備は出来ている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には契約書・重要事項説明書等の説明を行っている。後日、不明な点が出てきた場合はいつでも質問をしてもらい答えるようにしている。また、要介護度の変更によっての料金の変更もその都度説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。ご家族等から気軽に意見や要望を聞けるよう、電話や面会時に話を聞くようにしている。重要事項説明書に苦情相談窓口や、第三者機関を明示している。	玄関に意見箱を設置している。管理者や職員は日常の触れ合いの中で利用者から希望を聴いたり、家族等からは電話や訪問時に意見や要望を聴くよう努めている。出た意見や要望は管理者や職員で話し合い運営に反映させている。	意見や苦情を言い出し難い家族等に配慮し、無記名のアンケートを実施するとともに、結果を家族等に報告することを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は、職員との個別の面接を行い意見や提案を吸い上げている。また、月に1回の全体会議を実施し意見や情報の交換を行っている。	代表者や管理者は毎月全体会議を開催し職員の意見や提案を聞く機会を設け、職員一人ひとりの事情を組み入れて働きやすい環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己チェック表を作成し、本人・リーダー・代表の評価を行い、その結果により個別の面接を行い話し合いをしている。また、管理者は職員の悩み・疑問・不安などを話しやすい雰囲気を作りストレスを溜めないようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部・外部研修に参加が出来る機会を作っている。また、業務中にも技術・知識を伝えるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域3事業所間で交換研修を行い、交流を深めると共にサービスの質の向上を目指している。また、外部での研修に参加して意見や情報の交換をしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学は随時受け付けている。体験入居も行っており入居前に施設の雰囲気を感じていただいている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学は随時受け付けており、ご本人と共にご家族にも施設内を案内し説明をしている。介護保険サービスについても分かりやすく説明し、不安や疑問についても丁寧に説明をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	既往歴や入所申し込みの際、身体状況や家庭環境等により必要な関係機関との連携をとっている。また、家族との連絡を密にしながら、新しい環境に慣れて頂けるよう支援をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の方1人ひとりの得意な事・好きな事を把握し、一緒に行ったり教えてもらう機会を作っている。結果を入居者の方と職員は共に喜び、思いを共有している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	今までの家庭での暮らし方、ご家族の接し方や介護方法などをお聞きして、出来る事は継続して行うようにしている。面会時は、ご家族とゆっくりと過ごす事が出来る環境を提供している。また、毎月の施設便りを送付し様子をお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・ご親戚の方の訪問や電話を取り次いで関係が途絶えないよう支援している。また、ご家族の写真なども部屋に飾っている。	職員は利用者の生活歴や生活習慣を尊重し、今まで通っていた馴染みの理美容室を利用できるよう支援するなど、これまでの生活が継続できるよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	同レベル・嗜好の同じ方同士をグループにして個別ケアを行っている。また、集団行動を好まない方に対しては孤立することのないよう声掛けを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居の際、介護サマリー等を作成し施設での生活をお伝えしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所の際に、ご本人・ご家族に「生活史」をお聞きして今までどのような生活をしてきたか、把握出来るようにしている。日々の会話からも希望や意向を探るようにしている。意思疎通が難しい方などについては表情などを観察し、読み取る努力をしている。	職員は利用者の日々の行動や会話、表情などから思いや意向の把握に努めている。 意思疎通が困難な場合は、表情などを観察し意向を把握するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前までの生活史や暮らしぶり、嗜好・馴染みの関係などをお聞きしている。また、前サービスからはサマリー等を使い様子・状態・対応などを把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	昔の仕事、生活史などから得意な事、好きな事を把握している。出来ない事ばかりではなく、出来る事は何か・・・を考えケアにあたっている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	目標の期間に合わせてモニタリング・担当者会議を行っている。会議の場を設けなくとも申し送りの時間を活用したり、短時間でも情報を伝え合い共有している。利用者様・ご家族の要望に合わせ見直しを行っている。	介護計画は利用者や家族等の意見や希望を聞き、職員で話し合い作成するとともに、定期的に見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を細かく記録するようにしている。また、気づきや工夫などについては申し送り時や申し送りノートなどにより情報を共有している。実施状況に問題がある場合はカンファレンスを行い、介護計画を見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	施設内のサービスだけにとらわれる事なく、ボランティアなどの協力をお願いしている。(インフルエンザの流行により8月頃からは内部のみのサービスになっている)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターや民生員などからは運営推進会議で意見・指導を頂き支援に反映している。理美容に関しては、美容師のご家族が休みを利用して散髪に来てくれている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に1回、施設のかかりつけ医により往診が行われている。かかりつけ医の変更の際は紹介状の作成をしてもらっている。その他の医療機関が主治医の場合は、ご家族と連携をし通院・受診を行っている。	かかりつけ医への受診は家族等に対応してもらうことを基本としているが、状況に応じて職員が通院の支援をしている。 協力医療機関の定期的な往診があり適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回訪問看護を受け、体調の管理を行っている。かかりつけ医の診察内容の報告や日々の様子や状態の変化についての相談・指導を受けている。その内容は記録し職員間で共有している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は、施設での生活・対応を介護サマリーを利用し病院側に伝えている。担当看護師と話しをする機会を作り情報の共有をしている。入院中は家族との連携を密にとるようにし様子・状態の把握に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ターミナル時の対応についての家族の希望書を記入してもらっている。状態の変化についてかかりつけ医や訪問看護に相談し助言を受け、それについて職員間で話し合い方針を共有している。</p>	<p>重度化や終末期に向けたマニュアルを作成するとともに、契約時に看取り介護に関する指針を利用者や家族等に説明し同意を得ている。</p> <p>利用者や家族等の重度化に向けた希望を確認するとともに方針を医師や看護師、職員などの関係者で共有し支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当等の研修を受けている。まだ、定期的に行う事は出来ていない。また、マニュアルを作成していつでも閲覧が出来るようにしている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>施設内での非難訓練を定期的に行っている。</p>	<p>年に2回様々な災害や発生時間を想定した避難訓練を実施しているが、地域の人々の協力を得るまでには至っていない。</p>	<p>運営推進会議などで地域の人々に働きかけ、災害時や避難訓練時に協力が得られるよう体制づくりに取り組むことを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所前の呼ばれ方、言葉遣いなどをご家族からお聞きして慣れ親しんだ言葉掛けを心がけている。また、トイレ・入浴など羞恥心に配慮して言葉掛けを行っている。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、トイレ誘導時はプライバシーを損ねないような声かけや対応に配慮している。 個人記録等の書類は鍵のかかる場所に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思決定はご利用者に委ね、小さな事柄でもお聞きしながら行っている。意思疎通が困難な方でも声掛けをし、表情・体の反応の観察をして思いを読み取る努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の体調や気分に合わせて1日のスケジュールを変更している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	アセスメント時にご本人・ご家族から好きな色や服装のこだわりなどをお聞きしている。日々の着替え時には相談しながら服を選んでいる。また、「入所前に生活はどうだったか」を意識して支援を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お膳の準備や食器拭き等、出来る事をお願いしている。また、調理方法や味付けなどをお聞きしている。	利用者は自家菜園で収穫した作物を食材に取り入れて下ごしらえや味付けをしたり、できる範囲で食事の準備や後片付けを職員と一緒にしている。 職員は利用者の誕生会や行事の際にはケーキや特別食を作り、食事を楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量のチェックをし摂取量を職員が把握できるようにしている。食器等も、その方の身体レベルに合わせ工夫をしている。食事介助の際には誤嚥がないよう、その方に合わせた食事形態にし、ペースを合わせた介助をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後には口腔ケアを行っている。その際、口腔内の観察を行い食べ残し、残葉がないかも確認している。出来る事は声掛けにて行ってもらい、出来ない事をお手伝いしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意の訴えの無い方でもトイレ誘導を行い、出来る限りトイレで排泄が出来るよう支援している。	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、パターンに応じて声かけや誘導を行い、トイレで排泄ができるように支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックを行い、状態を把握している。下剤を使用する前に水分・運動などで排便を促せるようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	1日おきの入浴になっているが、体調・失禁等、利用者の方に合わせて変更している。湯加減・時間等も個人の好み・希望に合わせるようにしている。	一日おきの入浴となっているが、利用者の希望で毎日入浴することも可能である。 入浴を拒否する利用者には声かけに工夫をして入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室への誘導もご本人の意思に任せ就寝前の時間はゆったりと過ごせるよう支援している。睡眠時間・睡眠の状況も把握し日中の過ごし方を気をつけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに服薬している薬の情報も一緒に綴じてあり、いつでも確認が出来るようにしてある。処方の変更になった時など服薬後の状態を医師に報告している。与薬は担当を決めて誤薬や飲み忘れを防止している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	アセスメント時に生活歴や趣味、家での役割だった事等をお聞きして施設での支援に役立てている。皆で協力してやる事以外に、その方の担当にしてお願いしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在はインフルエンザの予防の為、人ごみへの外出は中止としているが、筑波山へのドライブや姉妹施設へ野菜の収穫をしに出掛けている。	利用者は日常的に買い物や散歩に出かけているほか、同一法人の他施設へ野菜の収穫に出かけている。職員は利用者の心身の状態や天気などを考慮し、ドライブなど利用者が気分転換できるよう支援をしている。庭にはベンチがあり、利用者は自由に戸外に出て思い思いに過ごしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭については個人管理は行っておらず、事務所管理としている。個人個人の購入については、その都度支払いをし収支を記録し月ごとに報告している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの手紙等はご本人にお渡ししている。また、電話の取次ぎもその都度行っている。現在、ご自分で手紙を書かれる方はいない。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの壁には季節に合わせて製作物を作り張り替えている。また、庭の草花を取ってきて室内に飾っている。	共用空間は室温や採光に配慮し利用者が居心地よく過ごせるよう工夫している。居間は見晴らしの良い大きな窓から景色を眺めることができ、季節を感じる事ができる。ソファを配置するなど、利用者が居心地よく過ごせるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者はそれぞれ個室なので、お1人になりたい場合には居室で休まれている。ホールの一角にソファとテレビを設置して寛げるスペースを作っている。また、庭にはベンチがあり自由に戸外に出て、1人の時間を楽しまれている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使われていた物を持ち込まれたり、遺影をお持ちになっている方もいる。居室の環境はご本人と相談しながら部屋づくりをしている。	利用者は居室に仏壇や家族等の写真を持ち込んだり、筆で歌詞や小倉百人一首を書いたりして、居心地よく暮らせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	現在は既存の設備で不便なく過ごされているので個別の設備・道具の活用はしていない。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 山吹の里

作成日 平成22年5月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害時や避難訓練時、地域の方々の協力が少ない	災害時や避難訓練時、地域の方々の協力が得られる	避難訓練時に地域住民・地域消防・運営推進委員の方々の参加を募る	6ヶ月
2	6	利用者・家族の意見要望等について、家族アンケートを実施していく	特定の利用者・家族に限ることなく意見・要望を聞くことが出来る	無記名でのアンケートの実施。アンケート結果の報告	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。